

ひだか病院の病床削減について (病床数適正化支援事業)

令和 7 年 8 月 2 1 日

御坊保健所

当面の病床機能転換等の一覧（御坊保健医療圏構想区域）

No.	医療機関名	今後の役割・方向性 令和5年7月 「2025年に向けた対応方針アンケート」より	機能転換等の内容 (一般病床・療養病床)	転換等の時期 (見込)
1	ひだか病院	A 救急拠点型 (重症患者の救急受入、高度・専門医療など)	廃止 急性期12床を廃止 <廃止後の機能別病床数> 急性期161床 (▲12床)	令和7年9月末

【病床数適正化支援事業】

(概要) 国の令和6年度補正予算により措置された「人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ」で設けられた病床削減する医療機関を対象とした給付金。令和6年度医療施設等経営強化緊急支援事業のメニューの一つ。

(目的) 経営状況が厳しい医療機関に対して入院医療を継続してもらうこと。

(要件) 病院（一般病床、療養病床又は精神病床）及び有床診療所。

ただし、令和6年12月17日から令和7年9月30日までに病床の削減が必要。

(積算) 削減病床1床あたり4,104千円

(財源) 全額国費（国10/10）

(その他) ・休床の削減も含むが、有床診療所から無床診療所への変更は、入院医療を継続するものではないため、支給対象外。

・事業計画書の提出がない場合は、本事業の給付対象外。

・既存事業（病床機能再編支援事業（単独支援給付金））の支給を受ける場合は、その差額のみ支給。

・病床削減とは、医療法上における、病院（診療所等）開設許可事項一部変更届（病室の病床数の減少）をもって判断。